

FEI クリーンスポーツ 検体採取方法

1. 馬の選択

- ・競技におけるドーピング防止検査のための馬の選択には 3 つの方法がある。
 - －成績上位馬の検査（主要大会における優勝馬、メダル獲得馬あるいはメダル獲得チームから最少 1 頭）
 - －無作為検査：審判員、獣医師代表団／代表、検査獣医師が合意した無作為選出方法を用いる）
- ・スポット検査を特別に選択した馬に対して実施することもできる。
- ・同一競技会において同一馬が複数回の検査を受けることもある。
- ・検査対象に選択された後、可及的速やかに検体採取馬房に連れて行かれる。尿および血液検体が検査オフィシャルの監督下で、対象各馬から採取される。

2. 検体採取キット

- ・以下に示す厳密な指針に従って、FEI 検体獣医師により検体採取が実施される。
- ・おもなツールは、個別のナンバーがつけられた箱に入った検体採取キットで、手袋、セキュリティキャップのついた尿用ボトル、血液採取用のチューブと針、セキュリティバッグ、箱と同じナンバーのついているバーコードラベルが含まれている。

3. 検体採取方法

採取時ならびに採取後には最も注意が必要である。検体獣医師は採取キットを開け、台の上ですべてをセットする。両手に使い捨て手袋をはめ、採取過程をすべて終えてボトルを閉めるまでは外してはならない。

4. 検体採取

尿および血液検体が、検査オフィシャルの監督下で各馬から採取される。採取過程におけるすべてのことは FEI 獣医師が行わなければならない、まず尿の採取（写真 1）、続いて血液の採取（写真 2）が行われる。しかし、少量の尿が採取されることも時としてあり、また、場合によっては 60 分が経過したときには尿の採取は行われぬ。このようなケースにおいては、血液のみが検体として採取される。

尿が採取できなかった場合には、血液のみが分析されるが、これも FEI ルールにおける適正な検査である。

5. 検体の処理

採取された検体を、尿、血液ともに A 検体と B 検体に分ける。

6. 書類

FEI 獣医師は薬物規制フォームに必要事項を記入し、スタンプを押し、検体を特定するためのラベルを貼る。このフォームは 3 つのパートで構成されている。検査獣医師が 1 つ目のパート（一番上の部分）、馬管理責任者が 2 つ目のパート（真ん中の部分）を保管し、3 つ目のパート（一番下の部分）は小さなビニール袋に入れて検体と一緒に MCP 検査所に送付される。最後の部分は個別のナンバーによって特定できるが、馬管理責任者の名前は記載されない。

薬物規制フォームのコピーは FEI に送付される。

7. 検査所に送るための準備

注意深く梱包された検体は最初にキットが入っていた箱に再び入れられ、封緘テープで閉じられる（写真 1）。次に、この箱をアイスパックと一緒に保温バッグに入れる（写真 2）。保冷バッグは、不可逆性のセキュリティクリップを使って閉じられる（写真 3）。MCP 検体発送フォームはもれなく記入され、検査所にファックスされる。このバッグは検査所に向けて最速の方法をもって送付する。

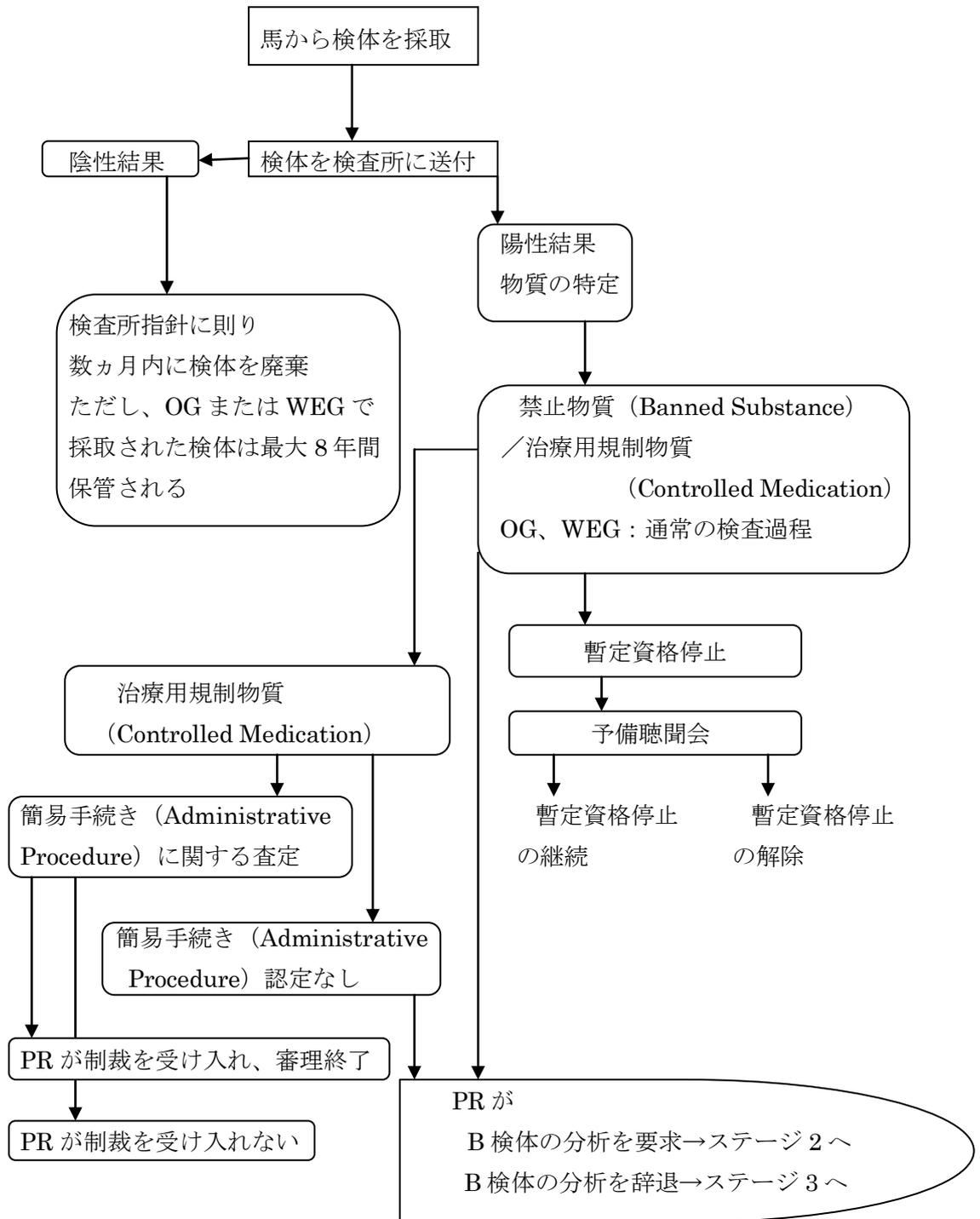
8. 検体採取過程における馬管理責任者の立ち会い

馬管理責任者または指名された代理人は、検体採取の全過程に立ち会い、その過程について一切の意義がないことを証明するために署名する。もし、何らかの懸念あるいは不服がある場合には、馬管理責任者はその内容についてフォームに記載することができる。

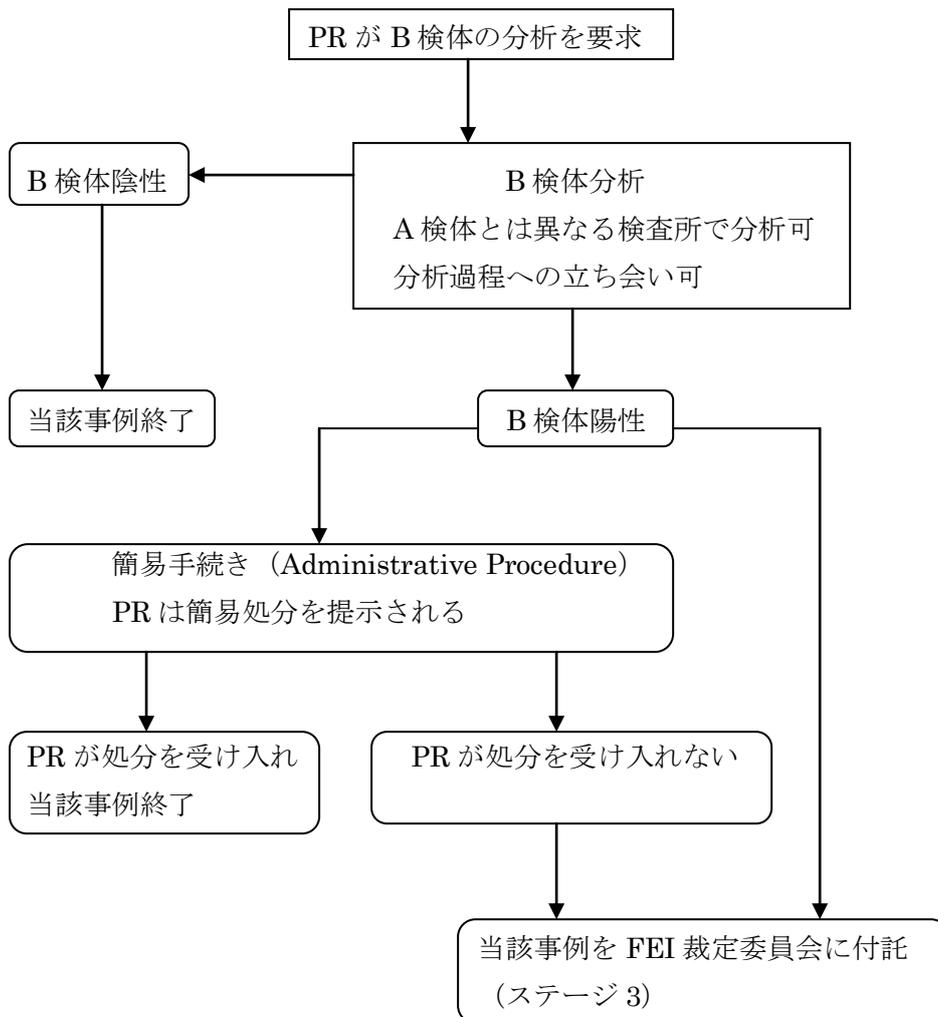
9. 検査所における検体検査

検査所に検体が到着したら、B 検体は後日再検査が要求されたときのために、厳重に保管される。A 検体（尿および／または血液）は初回分析に用いられる。初回分析は 7～21 日の間に実施される。禁止物質が検出された場合は、速やかにその結果が FEI 獣医部門に報告される。獣医部門は FEI 司法部門と協力して、当該事例における詳細を調査し、次にすべきことを決定する。

10. 次に起きることは？ーステージ1



11. 次に起きることは？－ステージ 2



12. 次に起きることは？－ステージ 3

